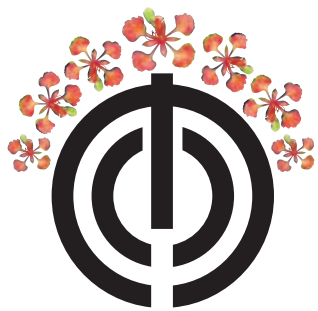




未来を拓く、なは☆ひとづくり、
まちづくり、ゆめづくり

広報 なは

那覇

市民の友

9

2025 Sep.
No.896



地方独立行政法人
那覇市立病院
Naha City Hospital

“新病院棟”10月1日開院予定！

市長メッセージ

いよいよ那覇市立病院が生まれ変わります。市立病院は、昭和55年に二次救急を担う病院として、本市が開設し、平成20年の地方独立行政法人移行後も、救急医療や小児・周産期医療、がん医療、高度医療の提供など、市民の命と健康を守るという、大切な公的使命を果たしてきました。

市立病院が、これからもみなさまの健康と未来を担う子ども達の命を守り、また、地域医療のさらなる発展に貢献していくことを心から期待しております。

本市におきましては、第5次那覇市総合計画に掲げた施策である「地域医療の充実したまちをつくる」の大きな柱の実現に向け、邁進しております。今後も、現病院棟の解体や跡地整備など、事業はまだ続きますが、市立病院と協働で推進し、その運営を支援してまいります。

那覇市長 知念 覚



病院長メッセージ

平素より那覇市立病院へのご支援に心より感謝申し上げます。

この度、当院は令和7年10月1日、現敷地内の新病院棟が開院予定です。「地域がん診療連携拠点病院」や「地域周産母子医療センター」など、これまで当院が担ってきた役割を引き続き全うしてまいります。さらに、免震構造や災害対応設備を備え、「市民の命を守る砦」としての責務を果たしていく所存です。移転を契機に在宅・予防医療への取り組みも一層推進し、みなさまにとって「いつでも安心して頼れる病院」となることを目指します。

今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

地方独立行政法人那覇市立病院
理事長兼病院長 外間 浩



市公式
Instagram
フォローしてね♪
#なはとびで検索



市公式
LINE
友達登録は
こちらから→



Catalog
Pocket
You can read this city
newsletter in 10 languages.



FOREIGN
RESIDENTS
PORTAL





新病院棟 10月1日開院予定！

那覇市立病院は、開院から45年が経過し建物の老朽化に伴う建て替えを進めてきました。“「結い」をキーワードとした、医療と地域を結ぶ新病院”をデザインコンセプトに掲げた新病院棟は、さらに強化された機能を備えています。今号では、開院間近の新病院棟の特長などをご紹介します。

病院概要

病院開設日	昭和55年5月1日(平成20年に地方独立行政法人に移行)
病床数	470床(一般病棟)
標榜診療科	36診療科(令和7年4月1日時点)
主な役割および機能	救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、紹介受診重点医療機関 他



内装をちょっと紹介

新病院棟の床には病院のロゴに使われている「葉っぱ」をモチーフにしたデザインが施されています。また、棟内の照明は、外来などではすっきりとした自然な明るさを取り入れ、病棟の一部では温かみのある光を使用する工夫が凝らされています。



9月14日(日)に、新病院棟内覧会を開催します。
←詳細は、那覇市立病院HPをご確認ください。

新病院フロアガイド(主な機能)

10F	リハビリテーション室
5～9F	病棟
4F	血液浄化療法センター
3F	手術室/ICU/HCU/ 日帰り手術センター
2F	救急センター/放射線検査/ 内視鏡センター/健診センター
1F	受付/外来/検査/ 外来点滴センター/ 入退院支援室
B1F	放射線治療

01

がん診療

市立病院は、地域がん診療連携拠点病院に指定されており、専門的ながん医療の提供、地域におけるがん診療の連携協力体制の整備、および患者さんやご家族への相談支援や情報提供などの役割を担っています。新病院棟の開院後も引き続き、手術および放射線治療、薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療を行い、患者さんに負担の少ない医療を目指していきます。また、リハビリテーションおよび緩和ケアを提供する体制を有するとともに、標準的治療など患者さんの状態に応じた適切な治療を提供していきます。



新病院棟には、
右の最新医療機器を
導入するよ！

現病院との比較

手術室	8室 → 10室	集中治療室(ICU)	10床 → 12床
外来点滴センター	12床 → 15床	高度治療室(HCU)	16床(新設)

02

地域周産期母子医療センター

産婦人科医および小児科医が24時間対応可能な体制を整備していきます。

分娩時の立ち会い、産後の母児同室、父親への育児指導参加、母乳育児サポート、助産師外来など、妊産婦さんと共にご家族もサポートできる体制を強化していきます。

現病院との比較

新生児集中治療室(NICU)	6床(現状と同数)
回復治療室(GCU)	6床 → 12床
産科個室	2床 → 11床
LDr*	3床(新設)

※LDr：陣痛から産後まで移動せずに過ごせる部屋



新生児集中治療室(NICU)▲



LDr▲

手術支援ロボット「ダヴィンチ」

傷口が小さいため、患者さんへの体の負担が少なく、術後の回復が早いことが特徴です。

対象疾患：前立腺がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、肺がん、婦人科良性疾病患
※今後も対象疾患を広げていく予定です。



放射線治療装置 TrueBeam 医療用リニアック

医療機器承認番号22300BZX00265000
※令和8年1月稼働予定

手術が難しい場所にあり、これまで治療ができなかった腫瘍に対してピンポイントに照射することが可能になります。治療精度が向上し、治療時間や回数が短縮され、患者さんの負担を減らすことができます。



03

スマートベッドシステム

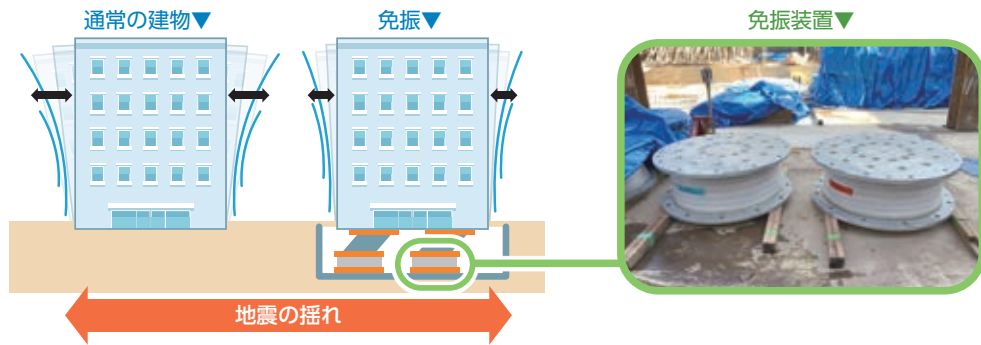
新病院棟ではスマートベッドシステムを導入予定です。

ベッドサイド端末に専用機器をかざすことで、電子カルテへ患者さんの体温、血圧などの情報を自動で入力することができ、様々な情報を素早的、確に共有することができます。



モニター画面にピクトグラムで飲食や歩行、リハビリ時間などの情報を掲載することで、患者さんに情報をわかりやすく伝えます。また、各種センサーを活用して、転倒転落を防いだり、患者さんの体調の急変に素早く対応することができます。

ここが変わる!
04 災害対応



新病院棟では、地震の揺れが建物に伝わりにくい「免震構造」を採用しています。また、被災後でも早期に診療機能を回復できるように病院事業継続計画(BCP)を整備しており、次年度以降には、災害時でも診療を継続できるよう、医療資源や非常食の備蓄機能を整備する予定です。

また、市立病院では災害派遣医療チーム「DMAT」が活動しており、大規模災害などの発生時には現地で支援活動を行っています。

院内での取り組みとして、急な処置も対応できるよう院内BLS研修(一次救命処置研修)を行っています。将来的には、地域災害拠点病院の指定をめざし取り組んでいます。



DMAT訓練の様子▲



BLS研修の様子▲

これまでの**歩み**

色々
ありました!

◎令和4年7月

旧駐車場の解体の様子です。新病院棟は旧駐車場跡地に建設しています。



◎令和5年5月

旧駐車場解体後に不発弾が発見されました。現病院の安全確保のため、窓ガラスをベニヤ板で保護し、撤去作業が行われました。



◎令和6年1月

今回の工事では最大45mのタワークレーンを設置して工事が進められました。



◎令和6年10月

毎年10月の臓器移植普及月間にあわせて、建設現場および現病院をグリーンにライトアップしました。



**令和7年
10月
開院
予定!**

**R4
2022**

◎令和4年12月

土留め、残土の掘削



**R5
2023**

◎令和5年7月

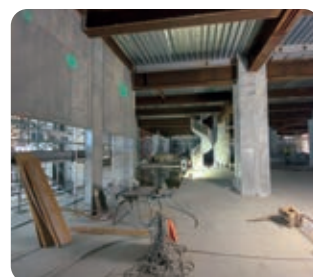
基礎躯体工事



**R6
2024**

◎令和6年5月

躯体工事の様子



**R7
2025**

◎令和7年5月

現病院棟の3階庭園より撮影。足場が外れ外観が見えてきました。



INFORMATION

お知らせ

開院!

	9/26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5	6
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
外来	通常診療			診療停止							通常診療
救急	通常診療			正午~ 診療停止	診療停止		8時半~ 診療開始				

開院時の診療制限について

新病院棟は令和7年10月1日に開院予定です。開院に伴う移転業務のため、外来および救急診療を制限いたします。救急診療は10月2日(木)8時半より、外来診療は10月6日(月)より再開します。

**解体工事に伴う
入口までの経路変更**

10月1日以降、旧病院棟の解体工事のため、立体駐車場の出入口と、モノレール駅および立体駐車場から病院入口までの徒歩経路が変更となります。みなさまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

※新病院棟開院後から約1年間は、2階救急センターが入口となります。

立体駐車場出入口の変更



モノレール駅および立体駐車場から新病院棟までの徒歩経路図

